

# たくさんの人に知ってほしい 林業は未来を創造する仕事です

森林組合参事を勤めた経験から林業の見識を深め、「株式会社高橋林業」を設立した林業経営者としての視点も持つ高橋正二さん。山の達人から林業に携わる上で必要なこと、林業従事者として生きていくことの楽しさややりがいを知りました。



株式会社高橋林業  
代表取締役 高橋正二さん  
神奈川県出身。山梨県庁退職後、森林組合の参事を勤め、林業経営の知識を深める。49歳で独立し、『高橋林業』を設立。

自然と疎遠になりつつある現代社会。林業に馴染みのない方も多いかもしれませんが。仕事としての山との関わり方について、山を愛する高橋さんにお話を伺いました。

「日本はその国土の約7割を森林が占め、世界第2位の森林大国になっています。二酸化炭素を吸収して酸素を作り出し、動植物の生態系を守ると共に人々に綺麗な水や潤いと安らぎを与えてくれる森林。それらを作り出している山々は、太古の昔から人間との繋がりがありました。私たちの祖先は森林か



らの恩恵を衣食住などに活かし、絶やすことなく大切に繰り返し、それらを活用してきました。それは利便性の高くなった現在でも続いています。まさに森林は人間の生活の一部といっても過言ではないでしょう。それに森林は、地球温暖化や大規模な土砂災害などから私たちを守ってくれます。なので私たちに、様々な恩恵をもたらしてくれる森林を守らなくてはいけないのです。

ところで皆さんは、林業に対してどのようなイメージを持っていますか。体を動かして泥まみれになり、時には命が危険にさらされることも…この印象は概ね間違っています。更に林業に従事するための資格が30種類以上もあるので、講習や試験を受けて高度な専門的知識と技術を習得していただくのはなりません。これらを完全に習得するには15年以上

もかかり、一人前になるには1千万円以上の費用が必要となります。その割には他の業種より日当が安く、子育てをするための環境を整えるのも難しいというのが現状で、途中で退職される方が多いのが林業の問題点でした。私はその現状を変え、イメージアップを図るための対策を講じています。人材育成や社員教育のシステムをより良いものにしたたり、福利厚生を充実させるなど、これからこの業界を支えてくれる20代から30代の若者たちのためにできることがたくさんあるのです。それが林業の楽しさはもちろん、働くことの楽しさを知ってもらえることが一番の幸せです。

山々と共に生きてきた私たちの生活は、どんどん山から離れています。いま一度、山々の大切さに思いを寄せ、私たちが山や森林を守っていけるような未来を作っていきましょう」

完全習得するには15年以上もかかり、一人前になるには1千万円以上の費用が必要となります。その割には他の業種より日当が安く、子育てをするための環境を整えるのも難しいというのが現状で、途中で退職される方が多いのが林業の問題点でした。私はその現状を変え、イメージアップを図るための対策を講じています。人材育成や社員教育のシステムをより良いものにしたたり、福利厚生を充実させるなど、これからこの業界を支えてくれる20代から30代の若者たちのためにできることがたくさんあるのです。それが林業の楽しさはもちろん、働くことの楽しさを知ってもらえることが一番の幸せです。

山々と共に生きてきた私たちの生活は、どんどん山から離れています。いま一度、山々の大切さに思いを寄せ、私たちが山や森林を守っていけるような未来を作っていきましょう」